

大垣西濃信金が誕生

2信金合併 預金残高7200億円

大垣信用金庫と西濃信用金庫が合併した大垣西濃信用金庫が12日、誕生した。預金残高7203億円、貸出金残高3324億円、役員員640人(いずれも2015年12月末)で、預金残高は県内の信金では岐阜信金、東濃信金に次ぐ3番目の規模。

人口減少などで経営 地盤とする西濃地域で 年1月、合併に合意。資源が変化する中で、規模拡大により収益基 1年かけて準備を進め大垣と西濃の2信金は 盤を強化するため、昨てきた。



テープカットで新金庫の誕生を祝う(右から)栗田順公理事長、大庭忠明副会長ら＝12日午前8時35分、大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本店営業部

同日午前、大垣市恵比寿町の本店営業部で、大垣西濃信金の栗田順公理事長(旧大垣信金)と大庭忠明副会長(旧西濃信金)らがテープカ

ット。
栗田理事長は「合併を機にさらなる経営体質の強化を図り、地域密着を深化させていきたい」と意気込みを語った。
システム統合のため9日から休止していた現金自動預払機(ATM)は、12日午前8時に再開した。